

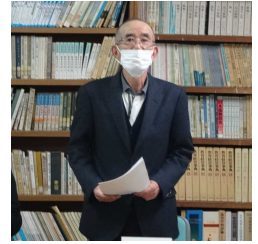
第3回 江陵中学校区 学校運営協議会(概要)

日時 令和5年2月28日(火)18時～19時30分
場所 江陵中学校 1階会議室

【司会進行 事務局校 櫻井貴幸 教頭 】

2 会長挨拶では、佐藤安憲会長よりご挨拶がありました。

「新型コロナウイルス感染症につきましては3年近く、学校長をトップに予防的な措置を含めて様々な対策をしながら過ごしてまいりました。今後は、特にマスクの取り扱いについて国の対応が変化するようではありますが、まだまだ安心とは言えない状況です。子どもたちの安全・安心という目標を持ち続け、更に気を付けながら過ごしていただきたいと思います。1月23日の滝川第一小学校を皮切りに、校区内4校を参観させていただきました。その中で、子どもたちが授業に集中し、先生方が子ども一人一人の課題を踏まえながら対応している姿に共感を覚えました。CSに関わる部分では、各学校からCSの取り組みについて、よくわからないというご意見もあると聞いております。情報発信が不足しているのではないかと考え、来年度以降に向けて対策を考えていかなくてはならないと思っています。この2年間は色々な制約の中で諸活動を行ってきたため、不十分な点も多く、ご指摘の通りだと思いますが、皆様には学校の応援団として、来年度以降もご協力いただければ大変ありがたいと思っています」



佐藤安憲会長



全体会の様子

これ以降は本間章久副会長が議長として議事を進行いたしました。

3 議題の(1)報告事項では、①各部報告について資料の通り説明がありました。

(2)次年度のCS構成については、事務局より資料の通り提案があり、承認されました。

全体会閉会后、5 部会打ち合わせに移りました。各部会での協議内容については以下の通りです。

<教育支援部会>



- ・「地域の安心・安全」という意味から740運動は良い取り組みだった。
- ・人材バンクの活用について、学校側では「無理してご協力いただいている」という思いがあるようだが、裏腹に地域としては「喜んで協力している」という声もある。
- ・協力いただいている地域の方々に何らかの形で感謝の意を表していきたい。

<小中連携部会>



- ・小中連携部会全員が「一乙二交流会」に参加することで、様々な角度から課題や改善点を明確化できるようにしていきたい。
- ・小中連携について地域と学校がどのような関わりを持てるか熟議する必要がある。
- ・小中連携を通して目指す姿や目標などを設定し、協議会の方とも共有した上でわかりやすく提示していくことも必要である。

<評価運営部会>



- ・次年度以降、他市町村の情報を収集しながら、評価用紙の文言について改善していきたい。
- ・地区全体で子どもたちの傾向を知りたい質問項目について、江陵中学校区4校で質問内容の文言を合わせてアンケートを取った方が良い。
- ・令和5年度は「スマホの利用」「ゲーム」についての質問項目を4校統一した記述内容に修正して、アンケートを実施する。

部会協議終了後、各自解散となりました。

委員の皆様の熱心な協議により実り多き会議となりました。ありがとうございました。